

## 海外留学室活動報告

堀江未来・柴垣史

### はじめに：今年度の活動の特徴

今年度は、海外留学指導担当教員である堀江にとって着任後2年目の年であり、非常勤スタッフの柴垣氏の協力を得ながら、海外留学室の基本的な機能を固めたうえで、さらに拡充することを目指した。具体的には、情報提供の質と量の拡大、TOEFL指導の開始、出発前指導の充実をはかった。その結果、交換留学生の応募者及び合格者が前年比1.5倍となったことを始め、各説明会への参加者数も増加している。

また、交換留学生の受け入れを担当している短期留学室とも連携を強め、協定校からの受け入れ学生と派遣学生、そして留学を終えて帰国した学生との関係構築を心がけ、お互いに学び合い、助け合うような関係作りを促した。こういった様々な学生を巻き込んだ取組を今後留学生相談室など関係部局とも連携しながら発展させ、名古屋大学における教育環境の国際化に貢献したい。

以下、平成17年度における海外留学室の活動を情報提供、個人相談、派遣学生に対する支援、来年度の派遣学生に対する教育指導及び選考、海外留学に関する情報収集活動の5セクションに分けて紹介し、最後に、来年度に向けての課題を提示する。

### 1. 情報提供

海外留学室における情報提供活動は、テーマ別のセミナーや説明会、ホームページ、図書資料の閲覧の3つを通して行っている。今年度における新しい取組としては、説明会の種類と回数の増加、ホームページの前面改訂、図書資料の充実化があげられる。

#### 〈セミナー・説明会〉

今年度は、各種説明会を全9回、毎週木曜日の昼休みに行われる入門セミナー全32回開催した。ほとんどの説明会は一般的な内容のものであるが、協定校関係者来校のうちに、その機会を利用して開催した、個別の

協定校についての説明会も含まれる。

以下は、今年度に行われた説明会及びセミナーの一覧である。対象を特に明記していないものは名大の学生・教職員一般を対象としたものであり、学外者の参加も許可している。

#### ◆新入生学生生活ガイダンス

日時：4月3日

対象：新入生

内容：名古屋大学における留学と国際交流機会について

\*全体のガイダンスのうち約10分間

#### ◆国際ボランティア説明会

日時：4月12日 12:10-13:00

場所：CALE フォーラム

講師：CIEE 星川氏

内容：CIEEが主催する国際ボランティアプログラムについての紹介

#### ◆海外留学説明会（工学部・工学研究科学生対象）

日時：4月13日 16:30-17:30

場所：IB電子情報館105教室

参加者：約30名

内容：名古屋大学における留学機会の説明、留学準備について

#### ◆海外留学説明会（全学対象）

日時：4月20日 16:30-17:30

場所：CALE フォーラム

参加者：約50名

内容：名古屋大学における留学機会の説明、留学準備について

#### ◆TOEFL説明会

日時：5月16日 16:30-17:30

場所：CALE フォーラム

講師：CIEE 星川氏

参加者：48名

◆交換留学（全学間協定）応募説明会

日 時：8月8日 14：00-15：30

場 所：CALE フォーラム

対 象：全学の学生，交換留学応募希望者

参加者：25名

内 容：交換留学（全学間協定）への応募について

◆ルノー財団奨学生プログラム応募説明会

日 時：8月8日 15：30-16：30

場 所：CALE フォーラム

対 象：全学の学生，応募希望者

参加者：5名

内 容：ルノー財団プログラム平成18年度への応募に関する説明

◆アデレード大学説明会

日 時：11月4日 12：15-13：00

場 所：留学生センター201教室

講 師：アデレード大学

参加者：8名

内 容：アデレード大学における交換留学プログラムについて

◆語学留学説明会

日 時：11月15日 12：10-13：00

場 所：CALE フォーラム

講 師：CIEE 星川氏

内 容：語学留学の準備／申請方法，プログラム選定に関する注意事項など

◆海外留学入門セミナー（全32回）

日 時：学期中の毎週木曜日 12：15-12：45

場 所：留学生センター201室

対 象：全学の学生，教職員

参加者：91名（別表1及び2の通り）

内 容：留学機会の紹介，情報収集，準備教育指導

〈ホームページ〉

留学生センターホームページの全面改訂に伴い，これまで運営してきた海外留学室ホームページも内容と構成を一新した（<http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/>

abroad/）。さまざまな留学機会についての情報をできるだけ早く学生に届けるという基本的な運営方針はそのまま継承しており，週1回以上の更新を続けている。

新しくなった留学情報ホームページは，留学生センター全体の中に，以前よりもよりわかりやすく位置づけられている。そのため，学生からのアクセスがより容易になったのではないと思われる。

今後も，海外留学を考え始めた名大生の最初の窓口としてホームページが持ちうる機能を重視し，より充実させていきたい。

〈留学関連資料提供〉

昨年度までは留学生センター棟1階ロビーにおかれていた資料を整理し，すべてを海外留学室内に移動させた。これにより，図書資料のより綿密な管理が可能となった。さらに，短期留学室で管理されている図書貸出システムが稼働し始め，海外留学関連図書についても同様に管理することが可能となった。また，新規図書も大幅に増やし，学生閲覧用のパソコンも整備することができた。

海外留学室の図書資料について，今年度は特にTOEFL-iBT試験対策教材の購入に力を入れた。TOEFL-iBTとは，2006年5月から日本では始まるとされているTOEFLの新しい試験方式であり，あらたにスピーキングテストが加わったり，統合的英語技能をはかる設問があったりと，これまでのTOEFL対策ではカバーしきれない部分が少なくない。この変化に対応するため，今年度の図書購入の優先順位をTOEFL-iBT教材とした。

2. 個人相談

海外留学室では，学期中相談時間（週約8時間）を設け，予約なしで個別相談が受けられるようにしており，それ以外の時間や休暇中は，予約制で受け付けている。個別相談を利用する場合，海外留学入門セミナーやそれに準ずる説明会などに出席し，ある程度自分の留学計画に対する考えをまとめ，情報収集を行っていることが前提となっている。メール対応も含めた週あたりの実質的な相談時間は，8時間から16時間程度を占めるのではないと思われる。

今年度の面談による個人相談件数は279件である（表

3)。相談内容は様々であるが、昨年度と特に変わった傾向は見られない。漠然とした留学や進路選択についての迷い、留学することについて周りの理解が得られない、金銭面の準備をどうしたらいいか、本当に留学すべきかどうか、など包括的なコミュニケーションを必要とするものから、出願やビザ取得についてなど具体的な情報についての問合せまで幅広く寄せられている。

メールでの相談件数は309件であり、面談形式よりも多い。メールでの問合せも面談形式の場合と比べ問題の多様性には変わらないが、やはりメールでの対応には限界があると感じている。メールにかかれる文章には文脈が読めないものや、学生本人の意志が全く見えないものも多いため、特に会ったことのない学生に対しては、どんなアドバイスをしてもし適切でない可能性が高いと感じられる。メールでの対応は、個人相談の利用を促すための窓口であるにとらえた上で、引き続き利用したい。

### 3. 派遣学生に対する支援

今年度、様々なプログラムにより留学を開始する学生に対し、それぞれ以下のような教育支援活動を行った。今年度意識的に取り組んだことは、それぞれのプログラムに関連して、参加者間、受入校からの外国人留学生、及び帰国留学生のネットワーク作りを促すことにより、留学準備過程に対する支援を得るだけでなく、様々な立場の学生がお互いに助け合い学び合える環境を作ることである。

#### 〈全学間交流協定に基づく交換留学〉

全学間交流協定に基づく交換留学について、今年度の派遣学生に対し、出願から出発までの支援と指導を行った。派遣学生の一覧は表4（左側半分）の通りである。これら全20名の学生は昨年度行われた学内選考の結果選ばれたものであるが、受け入れ校からの許可書を取得してはじめて派遣学生として認定される。今年度もすべての学生が無事に入学許可書を取得し、渡航することができた。なお、20名のうち2名は外国籍の学生であった。

また、JASSOによる短期留学推進制度奨学金を受給した学生が6名おり、その手続きや学生への連絡については国際課の短期留学掛と連携して対応した。

#### 〈日仏共同博士課程〉

本プログラムは、日本側及びフランス側コンソーシアム参加校の間での学生交換を促すものであり、原則として博士後期課程3年間のうちの2年目をそれぞれ日本またはフランスで過ごし、日仏指導教員の共同指導のもと、博士学位取得を目指すものである。

昨年度学内選考を行い、推薦がきまった2名学生については、日本コンソーシアム総会において派遣が承認され、今年度出発した。学生の行き先、所属等は以下の通りである。

リール第1大学

生命農学研究科 D 2（女）

高等師範学校

国際言語文化研究科 D 3（男）

#### 〈ノースカロライナ州立大学夏期英語研修〉

7月5日から8月6日にかけて行われる夏期語学研修であり、5名分の授業料（または10名分の授業料半額）が同大学 Japan Center によって提供される。今年度は5名の申込みがあり、4月18日に学内面接を行った結果、全員に対し授業料を全額免除することとして先方に報告し、了承された。

これら5名を対象に、今後の手続き及び米国留学ビザの取得方法について説明会を行った（5月11日）。この機会を利用して、参加者間の顔合わせを行い、出発までの準備を支援しあい、個人で準備することになっている航空券の予約・購入などについての情報交換を行うよう促した。

手続きは順調であったが、一つ大きな問題があった。それは、参加学生の1名がビザを取得することができず、辞退せざるを得なかったことである。この学生は、「学生ビザ」で日本に滞在する中国人留学生であり、その条件にしたがってビザの審査がされたものと考えられる。ビザが発行されなかったことは、学生本人だけでなく、送り出し側である名古屋大学にとっても、受け入れ側であるノースカロライナ州立大学にとっても非常に残念な出来事であった。今後も、名古屋大学で紹介している留学機会については国籍を問わず名大生であれば誰でも応募できることを原則としていくが、このような可能性があるということを、応募以前の情報提供段階でより強く注意を促したいと考えている。

ノースカロライナ州立大学夏期研修に参加した学生の所属部局・学年・性別は以下の通りである。

法学部2年（女）

医学部1年（女）

理学部3年（男）

国際言語文化研究科 M 1（女）

#### 〈木浦大校夏期研修〉

8月1日から12日にかけて韓国の木浦大学校で行われる韓国語学文化研修である。名大からの学生については、3名を上限として授業料及び宿泊費が免除される。学内からは4名の応募があり、4月27日に面接を行った。審査の結果全員を推薦し、木浦大学校から全員の受け入れが許可された。うち1名は外国人留学生である。所属等内訳は以下の通りである。

文学部1年（男）

工学部2年（男）

国際開発研究科 M 2（女）

国際言語文化研究科 M 2（男）

#### 〈慶熙大学校夏期研修〉

8月1日から19日にかけて韓国の慶熙大学校で行われる韓国語学文化研修である。慶熙大学校と名大は協定関係にはないが、特別な配慮により3名分の授業料免除枠が提供された。学内から5名の申込があり、5月9日に面接を行った。その結果、上位3名を推薦し、慶熙大学校からは全員受け入れが許可された。参加者の所属等は以下の通りである。

法学部4年（女）

情報文化学部3年（男）

工学部2年（男）

## 4. 来年度の派遣学生に対する教育指導及び選考

来年度中に開始する様々な留学プログラムについて、それぞれ下記の要領で参加学生の募集、選考、及び留学準備の指導を行った。全学間交流協定に基づく交換留学について、希望者数及び審査の結果派遣候補者となった学生の数が昨年度比1.5倍に増えたことは特筆に値する。また、新規事業として、候補者選考直後に全員に対する準備オリエンテーションを開催した。

#### 〈TOEFL 準備指導〉

英語圏へ留学を希望する場合、特に交換留学で協定校に留学したい場合には、必要最低限の TOEFL スコアを取得する必要がある。これまでの交換留学生選考状況を見ていると、十分な動機と目的を持っているが語学要件を満たさないという理由で機会を逃している学生が少なからずいることがわかった。したがって、英語圏への交換留学枠を十分に活用するためにも、早い段階での TOEFL 受験指導が必要であるとの考えに至った。

今年度は、4月に行った留学説明会と5月に行った TOEFL 説明会の間につながりをもたせ、留学希望者ができるだけ早く TOEFL の準備に取りかかることができるよう促した。同時に、TOEFL 教材を購入し、海外留学室で閲覧及び貸出しができるようにした。

さらに、名古屋大学生協の協力を得て、TOEFL-ITP（機関レベルで行われる公式模擬試験）を7月16日にはじめて実施し、19名の学生が受験した。正式なスコアが出る TOEFL-CBT の試験は現在日本全体では東京・横浜・大阪でしか実施されておらず、一度の受験にかかるコストが大きい。TOEFL 受験準備の過程においては時々自分の進捗をはかることが必要であり、そのため、学内で安価に受験できる TOEFL-ITP を実施することは有効であると考えられる。

この働きかけが直接の原因かどうかは不明であるが、結果として交換留学生出願者のうちの多くが必要最低点をクリアしていた。そのため、従来は候補者が見つからなかった英語圏の交換留学生枠もほとんどを埋めることができた。（昨年度7名に対し、今年度18名）。

TOEFL は、来年度、スピーキングや統合的問題を含めた新方式に変わる予定である。これに対応するため、引き続き受験指導を強化していきたい。

#### 〈全学間交流協定に基づく交換留学〉

来年度派遣分の交換留学生については、8月8日の説明会をもって応募開始とした。同時に、ホームページでの告知も開始した。今回募集した交換留学受け入れ協定校は資料1の通りである。

10月24日を学内応募締め切りとしたところ、全学から52件の応募があった。11月4日の交換留学実施委員会を経て、11月17日と18日に交換留学実施委員会委員で構成される担当者により、面接を行った。その結果、

30名の交換留学候補者を選出した。また、審査順位に従い、JASSOの短期留学推進制度奨学金へ推薦順位案を作成した。

さらに枠が空いている協定校のうち7校について、2次募集を行った（木浦大学校、梨花女子大学校、漢陽大学校、吉林大学、南京大學、シドニー大学、南オーストラリア大学）。学内から2名の応募があり、審査の結果両名とも候補生として選出された。

交換留学生候補者全32名の所属部局、学年（応募時）、及び性別は、表4（右側半分）の通りである。候補者の所属部局を多い順から見ると、文学部／文学研究科7名、工学部7名、経済学部4名、教育学部／教育発達科学研究科3名、法学部3名、情報文化学部3名、農学部2名、理学部1名、環境学研究科1名、国際開発研究科1名となっている。男女比は、男子13名対女子19名となっており、名古屋大学学生全体の男女比と比べてはるかに女子学生の比率が高い。応募時の学年については、多い順に2年生15名、3年生9名、1年生2名、4年生2名、博士前期課程1年2名、博士後期課程1年1名、3年1名となっている。

また、候補者決定通知の直後、上記学生に対し下記オリエンテーションを行った。これは今年度新たに始めたものである。留学準備期間の過ごし方は、留学中及び帰国後の成果に大きく影響する。これらのオリエンテーションは、早い段階から留学生としての自覚を促し、自立心をもって準備に取り組ませることを目的としている。また、同期交換留学生のネットワークを早期に構築することで、情報交換を促進させることも目指した。

◆フランス留学予定者準備説明会

日 時：12月15日（木）12：00－13：00

場 所：留学生センター104号室

◆交換留学生準備オリエンテーション

日 時：1月18日（水）16：30－18：00

場 所：留学生センター207号室

〈ルノー財団プログラム〉

このプログラムは、フランス・ルノー財団による奨学金及び予備教育が提供されるものであり、修士レベルがターゲットとなっている。今回は、MBA Dauphine-Sorbonne-Renault（経営学修士）、Master ParisTech

Fondation Renault（理工系修士）、及びCycle Majors Renaultの3コースについて来年度出発分の募集があった（プログラム詳細はルノー財団ホームページを参照<http://www.fondation.renault.com>）。

10月7日を学内応募締切としたところ、Cycle Majorsに1名、MBAに2名（うち1名は卒業生）の応募があった。専攻の結果、全員をルノー財団に推薦し（その後MBA応募者1名辞退）、ルノーによる審査の結果、全員合格した。学生の所属等は以下の通りである。

MBA Dauphine-Sorbonne-Renault

法学部卒業生（女）

Cycle Majors Renault（パリ第1大学）

国際開発研究科 M 1（女）

〈名古屋大学長期留学支援プログラム〉（新規）

文部科学省から公募のあった「大学教育の国際化推進プログラム」について、「名古屋大学長期留学支援プログラム」として採択されたものである。これは、学位取得目的の海外留学（またはアジア地域における研究調査）を支援するものであり、今年度は学内から2名の応募があった。学内選考の結果、両名を文部科学省へ推薦し、そのうち、下記のとおり1名の学生が合格した。来年度は、この学生の出発前支援を総合的に行う予定である。

スタンフォード大学大学院 工学部4年（男）

5. 海外留学に関する情報収集活動

留学全般から個別のプログラムに至るまで、常に変化する状況に対応するため、情報収集は最も重要な業務の一つである。インターネットの発達により、多くの情報はホームページやメールによる問合せで入手可能であるが、やはり実際に担当者と一定時間会い、会話を通して状況を理解することは、相手との信頼関係を築き、今後のコミュニケーションを円滑にするためにも不可欠であり、今後もできるだけ多くの機会を作っていきたい。また、国際教育に関する国際会議の場は、複数の協定校関係者に会えるだけでなく、今後のプログラム開発に繋がる情報を得ることができるため、有用であると考えられる。

以下は、今年度行った主な情報収集活動である。

4/28 シンシナティ大学 Susan Bacon 氏来訪、  
交換留学に関する情報交換

- 5/27-6/5 NAFSA: Association for International Educators 年次総会出席, 北米地域及び世界における高等教育動向についての調査, 協定校関係者との情報交換(アメリカ・シアトル)
- 6/16 セント・オラフ大学 Luyen Phan 氏来訪, 交換留学に関する情報交換
- 7/13 アメリカ領事との情報交換会(南山大学)
- 7/23-24 JAFSA: 国際教育交流協議会サマーセミナー(軽井沢)
- 9/12-20 EAIE: European Association for International Education 年次総会出席, ヨーロッパ地域及び世界における高等教育動向についての調査, 協定校関係者との情報交換(ポーランド・クラコフ)
- 10/9 ブリストル大学 Sioned Evens 氏来訪, 交換留学に関する情報交換
- 10/9 イギリス留学フェア(ナディアパーク)
- 10/28 オーストラリア大使館 オーストラリア政府教育情報センター長馬原氏来訪, オーストラリア留学に関する情報交換
- 11/1 アメリカ大学留学フェア及び留学指導担当者のためのラウンドテーブル(名古屋アメリカンセンター)
- 11/22 グルノーブル大学コンソーシアム東氏来訪, 交換留学に関する情報交換
- 12/9 次世代 TOEFL テスト / TOEFL - iBT に関する情報交換会(CIEE 京都)
- 2/7 米国留学ビザ申請についての説明会(米国大使館)
- 3/29-4/1 APAIE: Asia Pacific Association for International Education 総会出席, アジア太平洋地域及び世界における高等教育動向についての調査, 協定校関係者との情報交換(韓国・高麗大学)

### おわりに：今年度の総括と来年度への課題

昨年度から引き継いだ課題3点については、今後継続的な拡張や改善が必要なものの、おおむね良いスタートが切れたように思う。1点目の「異文化

教育プログラムの開発・実施」については、堀江が NUPACE で担当している授業「Communication and Human relations in Cross-cultural Contexts」を共通教育開放科目とし、交換留学予定者を含めた一般学生に対しても受講機会を確保した。また、留学予定者と NUPACE 受け入れ留学生、帰国留学生とのネットワーク構築を働きかけ、学生自らが友人関係を通じて留学準備のための情報交換等を行えるようにした。このように、学生が自発的に留学準備を行い、またそれを通じておたがいに学び合い助け合うことができるような仕組み作りを、教育支援の一部としてこれからも重視していきたい。

第2の課題であった「海外留学室の広報活動」については、まずはホームページのリニューアルを行った。また、全学向けの説明会のタイミングを工夫し、回数を増やすなど、学生・教職員への情報提供機会を増やすこともできた。来年度は、初頭から海外留学室の活動を紹介するブローチャーを作成し、全新生に配布する予定である。

第3に、「危機管理体制の整備」の課題については、引き続き、派遣学生の緊急連絡先を管理・更新することにとつめた。実際今年度は、ロンドンにおける地下鉄テロやカリブ海地域におけるハリケーン被害など安否確認の対象となる事件・災害も発生し、緊急連絡先情報が役に立った。しかし、この機能をより全学的に行うことを目的とした海外留学データベースはまだ運用段階に達しておらず、来年度への課題となっている。また、海外における危機回避のための指導は、今年度は個別相談の一部として行うにとどまったが、来年度はオリエンテーション形式で行い、留学環境における心身両面の健康管理や異文化適応についての指導を強化させたい。

さらに来年度へ向けての課題として、2点あげたい。第1点めは、TOEFL 指導の強化である。TOEFL は、来年度、現行の CBT (Computer Based Test) から、iBT (Internet Based Test) に変わる予定である。試験の本質は変わらないものの、あらたにスピーキングテストが導入されたり、リーディングとリスニングとライティングまたはスピーキングが統合的に構成された問題形式が登場したりと、試験対策には一定の時間と準備努力が必要と思われる。今年度経験したとおり、英語圏への交換留学生数は、TOEFL の結果次第ともいえる部分があり、来年度も引き続き交換留学生数を

増やすためには、iBTに対応するための学習支援が必要である。したがって、来年度は、説明会やセミナー、模擬試験等を組み合わせた TOEFL 準備支援プログラムを開催したいと考えている。

第2点目は、交換留学を終えて帰国した学生の、その後の進路についての情報収集である。留学前の学生からの相談においては、「留学した後どのように就職活動をしたら良いのか」という質問が少なくない。就職活動についての専門的な情報収集については、学生相談総合センター就職相談部門に行くよう指導しているが、留学経験者に特化した進路情報を収集し、これ

から留学しようとする学生の参考情報を用意できればと考えている。すでに留学をキャリア形成の一部として具体的に位置づけ、実行した学生もいれば、留学が進路探しのきっかけとなった学生もいる。「進路」と「留学」の関係について、また「留学」の活かし方について、個々多様な形があること示したい。

表1：平成17年度 海外留学入門セミナー月別出席者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
参加者数	26	11	14	10	休止		14	7	2	4	3	休止	91

表2：同 所属別参加者数

	1年		2年		3年		4年		M1		M2		D1		D2		D3		他		総計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
文学部	1	4		2		3															10	
文学研究科														1	1						2	
教育学部		2		2		2															6	
法学部	1				1	2															4	
法学研究科									1												1	
経済学部	3	3	5	2	1	2															16	
経済学研究科									1												1	
情報文化学部	1	2	2	3																	8	
理学部			1	1																	2	
医学部	1	1																			2	
医学部保健学科		1																			1	
工学部	1	2	4		5	1	2														15	
工学研究科									2	1											3	
農学部	1	1	3					2													7	
生命農学研究科									1												1	
国際開発研究科										3				1							4	
情報科学研究科									1												1	
国際言語文化部										2											2	
環境学研究科									3	1											4	
その他																				1	1	
小計	9	16	15	10	7	10	2	2	9	7	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	91
合計	25		25		17		4		16		0		2		1		0		1		91	

表3：平成17年度 海外留学個人相談月別利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
面談件数	26	27	40	17	17	15	47	8	14	9	44	15	279
メール相談件数	48	10	17	23	44	41	44	29	9	13	16	15	309
合計相談件数													588



表4：全学間交流協定に基づく交換留学生

	平成17年度派遣学生			平成18年度派遣候補生		
全体数	20名			32名		
<b>アメリカ</b>	6名			12名		
ニューヨーク大学	国際言語文化研究科	M2	女子	経済学部	2年	男子
	文学部	4年	女子			
	法学部	4年	女子			
ノースカロライナ 州立大学	教育学部	3年	女子	工学部	4年	男子
	文学部	3年	女子	工学部	2年	男子
	文学部	3年	女子	農学部	2年	女子
イリノイ大学				情報文化学部	1年	女子
				工学部	4年	男子
南イリノイ大学				工学部	1年	男子
				文学部	2年	女子
シンシナティ大学				情報文化学部	2年	男子
				文学部	3年	男子
セント・オラフ大学				文学部	3年	女子
				経済学部	3年	女子
<b>イギリス</b>	1名			4名		
ブリストル大学	文学部	4年	男子	理学部	3年	女子
ウォリック大学				文学研究科	D1	女子
シェフィールド大学				情報文化学部	2年	女子
				文学部	2年	女子
<b>フランス</b>	4名			4名		
ストラスブール コンソーシアム	国際開発研究科	M2	女子	農学部	2年	男子
グルノーブル コンソーシアム	経済学部	4年	女子	法学部	3年	女子
	文学部	3年	女子	文学部	2年	女子
	情報文化学部	4年	男子	工学部	2年	男子
<b>中国</b>	3名			3名		
吉林大学	情報文化学部	2年	男子			
清華大学	工学部	2年	女子			
南京大学	文学部	M1	男子			
復旦大学				経済学部	3年	男子
				教育学部	3年	女子
上海交通大学				経済学部	2年	男子
<b>韓国</b>	3名			3名		
漢陽大学	文学部	4年	女子	工学部	2年	男子
	工学部	4年	男子			
梨花女子大学	経済学部	3年	男子	教育学部	2年	女子
高麗大学				教育発達科学研究科	D	男子
<b>オーストラリア</b>	0名			2名		
アデレード大学				法学部	3年	女子
フリンダース大学				文学部	2年	女子
<b>ドイツ</b>	1名			2名		
フライブルグ大学	国際開発研究科	M2	女子	工学部	2年	女子
ブラウンシュバイク				環境学研究科	M1	男子
<b>ブラジル</b>	1名			1名		
ブラジリア連邦大学	国際開発研究科	M2	女子	法学部	3年	女子
<b>インドネシア</b>	1名			0名		
スラバヤ国立大学	文学研究科	D2	男子			
<b>インド</b>	0名			1名		
ブネー大学				国際開発研究科	M1	女子

\*学年は出発時のもの

\*学年は学内選考時のもの

資料1：平成18年度 大学間交流協定に基づく交換留学生募集 協定校一覧 (募集時より一部情報省略)

No.	大学名	国名	応募条件	履修形態	大学/プログラム情報等	授業料	備考
1	プネー大学	インド	英語能力を有する者	英語研修および一般授業履修	<a href="http://intcent.unipune.ernet.in/site/index.htm">http://intcent.unipune.ernet.in/site/index.htm</a>	授業料有料	
2	カセサート大学	タイ	英語またはタイ語		<a href="http://www.ku.ac.th/">http://www.ku.ac.th/</a>	免除	
3	チュラロンコン大学	タイ	英語による授業を履修する場合は TOEFL213以上。タイ語授業を履修する場合はタイ語能力。		<a href="http://w3.chula.ac.th/inter/menu.htm">http://w3.chula.ac.th/inter/menu.htm</a>	免除	
4	ガジヤマダ大学	インドネシア	インドネシア語および英語		<a href="http://www.ugm.ac.id/">http://www.ugm.ac.id/</a>	免除	
5	スラバヤ国立大学	インドネシア	インドネシア語および英語	一般授業履修等	<a href="http://www.unesa.ac.id/">http://www.unesa.ac.id/</a>	免除	
6	慶尚大学校	韓国	GPA3.0以上	韓国語研修, 韓国語および英語による一般授業履修	<a href="http://nongae.gsnu.ac.kr/%7Egyomu/kookje_eng/index.html">http://nongae.gsnu.ac.kr/%7Egyomu/kookje_eng/index.html</a>	免除	
7	木浦大学校	韓国		韓国語研修, 韓国語による一般授業履修	<a href="http://www.mokpo.ac.kr/">http://www.mokpo.ac.kr/</a>	免除	
8	梨花女子大学校	韓国		韓国語研修, 韓国語および英語による一般授業履修	<a href="http://iei.ewha.ac.kr/">http://iei.ewha.ac.kr/</a>	免除	女子大だが男子も可
9	漢陽大学校	韓国		韓国語研修, 韓国語および英語による一般授業履修	<a href="http://www.hanyang.ac.kr/english/">http://www.hanyang.ac.kr/english/</a>	免除	
10	華中科技大学	中国		中国語研修または一般授業履修		免除	
11	吉林大学	中国		中国語研修または一般授業履修	<a href="http://oic.jlu.edu.cn/oic/lxjd/lxjd_rxxzs.php">http://oic.jlu.edu.cn/oic/lxjd/lxjd_rxxzs.php</a>	免除	
12	上海交通大学	中国		中国語研修または一般授業履修	<a href="http://www.sjtu.edu.cn/english/admission/international/">http://www.sjtu.edu.cn/english/admission/international/</a>	免除	
13	西安交通大学	中国		中国語研修または一般授業履修	<a href="http://www.xjtu.edu.cn/en/admissions/">http://www.xjtu.edu.cn/en/admissions/</a>	免除	確認中
14	清華大学	中国		中国語研修または一般授業履修	<a href="http://www.tsinghua.edu.cn/docsn/wb/lxs/eksh.htm">http://www.tsinghua.edu.cn/docsn/wb/lxs/eksh.htm</a>	免除	21世紀発展研究院とGSIDの間でのみ授業料不徴収
15	浙江大学	中国		中国語研修または一般授業履修	<a href="http://www.zju.edu.cn/english/admissions/oversea/index.htm">http://www.zju.edu.cn/english/admissions/oversea/index.htm</a>	免除	
16	同済大学	中国		中国語研修または一般授業履修	<a href="http://www.tongji.edu.cn/~tstju/">http://www.tongji.edu.cn/~tstju/</a>	免除	
17	南京大学	中国		中国語研修または一般授業履修	<a href="http://www.nju.edu.cn/cps/site/NJU/hwxy/ChineseVersion/abroad.htm">http://www.nju.edu.cn/cps/site/NJU/hwxy/ChineseVersion/abroad.htm</a>	免除	

18	復旦大学	中国	中国	中国語研修または一般 授業履修	中国語研修または一般 授業履修	<a href="http://www.fudan.edu.cn/englishnew/about/liuban.html">http://www.fudan.edu.cn/englishnew/about/liuban.html</a>	免除	
19	東北大学	中国	中国	中国語研修または一般 授業履修	中国語研修または一般 授業履修	<a href="http://www.neu.edu.cn/">http://www.neu.edu.cn/</a>	免除	
20	北京大学	中国	中国	中国語研修または一般 授業履修	中国語研修または一般 授業履修	<a href="http://www.oir.pku.edu.cn/newoir/studentab/studentab.asp">http://www.oir.pku.edu.cn/newoir/studentab/studentab.asp</a>	授業料必要 (詳しくはHP 参照)	募集なし
21	哈爾濱工業大学	中国	中国				免除	募集なし
22	中国科学技術大学	中国	中国				免除	募集なし
23	ラオス国立大学	ラオス	ラオス	一般授業履修等	一般授業履修等	<a href="http://www.nuol.edu.la/nuolstart.jsp?id=1&amp;lc=en">http://www.nuol.edu.la/nuolstart.jsp?id=1&amp;lc=en</a>	免除	
24	シドニー大学	オーストラリア	オーストラリア	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.usyd.edu.au/fstudent/studyabroad/index.shtml">http://www.usyd.edu.au/fstudent/studyabroad/index.shtml</a>	免除	
25	アデレード大学	オーストラリア	オーストラリア	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.internationaladelaide.edu.au/future/abroad/">http://www.internationaladelaide.edu.au/future/abroad/</a>	免除	都市工学関連分野専攻大学の 院生については奨学金の可 能性あり
26	フリンダース大学	オーストラリア	オーストラリア	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.flinders.edu.au/international/students/index.html">http://www.flinders.edu.au/international/students/index.html</a>	免除	都市工学関連分野専攻大学の 院生については奨学金の可 能性あり
27	南オーストラリア大 学	オーストラリア	オーストラリア	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.unisa.edu.au/international/default.asp">http://www.unisa.edu.au/international/default.asp</a>	免除	都市工学関連分野専攻大学の 院生については奨学金の可 能性あり
28	モナシユ大学	オーストラリア	オーストラリア	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.monash.edu/international/prospectivestudents/">http://www.monash.edu/international/prospectivestudents/</a>	授業料必要 (詳しくはHP 参照)	
29	イリノイ大学アーバ ナ・シャンペーン校	アメリカ	アメリカ	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.uiuc.edu/">http://www.uiuc.edu/</a>	免除	
30	オババーリン大学	アメリカ	アメリカ	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.oberlin.edu/">http://www.oberlin.edu/</a>	授業料必要 (詳しくはHP 参照)	
31	シンシナティ大学	アメリカ	アメリカ	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.uc.edu/">http://www.uc.edu/</a>	免除	
32	セント・オラフ大学	アメリカ	アメリカ	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.stolaf.edu/admissions/international/index.html">http://www.stolaf.edu/admissions/international/index.html</a>	免除	
33	ニューヨーク大学	アメリカ	アメリカ	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.nyu.edu/global/international.html">http://www.nyu.edu/global/international.html</a>	免除	
34	ノースカロライナ州 立大学	アメリカ	アメリカ	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.ncsu.edu/studyabroad/intl/index.html">http://www.ncsu.edu/studyabroad/intl/index.html</a>	免除	
35	南イリノイ大学カー ボンデール校	アメリカ	アメリカ	一般授業履修	一般授業履修	<a href="http://www.siu.edu/%7Eintldev/intlapgd.html">http://www.siu.edu/%7Eintldev/intlapgd.html</a>	免除	

36	ブラジリア連邦大学	ブラジル	基礎的なポルトガル語または英語能力	ポルトガル語研修、一般授業履修	http://www.umb.br/portal/	免除	免除	
37	コペンハーゲン大学	デンマーク	TOEFL213/550, 3年次以上, デンマーク語?	一般授業履修 (英語およびデンマーク語)	http://www.ku.dk/default2_uk.asp?src=http://www.ku.dk/sa/inter/exguest/gueststudj.html	授業料不徴収 協定はないが、 授業料無料	確認中	
38	ウォリック大学	イギリス	TOEFL260/620, 法学部3年次以上	一般授業履修	http://www2.warwick.ac.uk/	免除	JYA (学部3年次以上) 有料	
39	シェフィールド大学	イギリス	学部学生, GPA 3.0以上, TOEFL213/550 (受入れ学部によって異なる。HP 参照 http://www.shef.ac.uk/international/sa/englishrequirements.htm)	一般授業履修	http://www.shef.ac.uk/international/sa/	免除		
40	ブリストル大学	イギリス	TOEFL250/600 (ただし7月から9月にSABLEを履修する場合は173/500)	一般授業履修	http://www.bris.ac.uk/international/studyabroad/	免除	STABLE (7-8月) 有料	
41	ケムニッツ工科大学	ドイツ	中級以上のドイツ語能力, 英語能力	ドイツ語および英語による一般授業履修	http://www.tu-chemnitz.de/international/nach-chemnitz/index.php	免除	有料のドイツ語コースあり	
42	ブラウンシュweig工科大学	ドイツ	2年次以上 (多くは3年次以上), 中級以上のドイツ語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www.tu-braunschweig.de/international/exchange	授業料不徴収 協定はないが、 授業料無料	ドイツ語コースあり	
43	ミュンヘン工科大学	ドイツ	中級以上のドイツ語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www.tum.de/jshpchooser.tupl	授業料不徴収 協定はないが、 授業料無料		
44	フライブルク大学	ドイツ	中級以上のドイツ語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www.io.uni-freiburg.de/	免除	事前有料ドイツ語コースあり	
45	ルイ・パスツール大学 (ストラスブール第1)	フランス	フランス語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www-ulp.u-strasbg.fr/	免除		
46	ボンゼシヨセ工科大学	フランス	フランス語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www.enpc.fr/	免除		
47	グルノーブルコンソーシアム	フランス	3年以上の学部生, フランス語中級以上	フランス語および英語による授業履修 (GUEST)	http://www.grenoble-universites.fr/guest/	免除		
48	ストラスブールコンソーシアム	フランス	3年次以上の学部生, フランス語中級以上	フランス語および英語による授業履修 (SUSAP)		免除		
49	東南アジア地域農業教育研究センター (主にフィリピン大学ロス・バニョス校)	フィリピン	英語能力, 大学院生	一般授業履修等	http://web.searca.org/home.asp	約10,000ペソ	確認中	